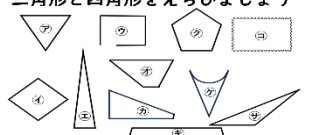
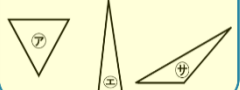
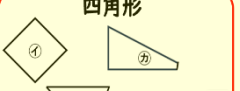
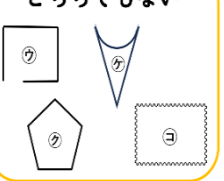


学習活動・予想される児童の反応	本時見られた深く学び続ける子どもの姿
1 前時学習を想起し、本時のめあてをつかむ。 ○ 提示された図形をみて、三角形と四角形のえらび方を調べるめあてについて話し合う。 三角形と四角形をえらびましょう  ・ 三角形と四角形がある ・ どちらか分らない形もある めあて 三角形と四角形のえらび方を考えよう。 2 三角形と四角形のえらび方を調べる。 ○ 見通しを立てる 見方：囲まれた直線 考え方：「やくそく」を使う、友達と相談する ○ 三角形と四角形のえらび方を考え、その理由を話し合う。 三角形  ⑦と⑧と⑨の理由 ・ 3本の直線だから ・ 3本の直線で囲まれているから 四角形  ①と②と③と④の理由 ・ 4本の直線だから ・ 4本の直線で囲まれているから 3 三角形と四角形のどちらでもない図形について話し合う。 ○ 理由をノートに書き、話し合う。 どちらでもない  ⑩の理由 ・ 囲まれていないところがあるから ⑪の理由 ・ 5本の直線で囲まれているから ⑫の理由 ・ 直線ではないところがあるから ⑬の理由 ・ 直線で囲まれていないから 4 本時学習のまとめをし、「今日の学習で」を書く。 まとめ 直線の数や直線で囲まれているところを調べると、仲間分けできる。 ・ 何回も説明をして、三角形と四角形が分かった。 ・ 友達に、なぜ三角形なのか説明ができた。 ・ どちらの仲間か分らない形もあったが、友達の説明を何度も聞いて分かった。	○ 前時の終わりに、三角形か四角形か見分けることが難しい図形を提示し、どちらの仲間になるのか予想をさせた。様々な図形を見せ、既習のやくそくをつかい三角形と四角形を選ぶという目的から、めあてを立てる姿が見られた。 ○ 三角形と四角形を選ぶ際に、学習用端末を使うことで、拡大して図形を見たり、図形を何度も動かしながら三角形と四角形を選ぶことができた。また、友達の意見を見て、自分の意見と違う人のところに学習用端末を持って行き、なぜそのように選んだのかという意見交流をし、やくそくの言葉をつかい、何度も伝え合う姿が見られた。 ○ 学習者用端末で前時学習した時のログを入れることで、三角形と四角形をえらぶときに振り返ってみることができる姿が見られた。 T ⑩は三角形といっている人がたくさんいました。なぜ、三角形ではないのですか。 C 1 角が4つだから、四角形です。 T 角の数で選んだんですね。 では、この形は、三角形四角形どちらですか？  C 2 どちらでもありません。 直線が離れているところがあるからです。 T そうですね。角の数だけで、えらぶことはできなさそうですね。 では、どこに着目してみたらよいですか。 C 3 囲まれている直線の数でみます。4本の直線で囲まれているので、四角形です。 ○ 何度もやくそくを使い、友達とえらび方を説明し合う場面を設定したことで、「三角形は三本の直線で囲まれた形ということが分かった」「分らない形があったけれど、友達の説明でわかった」と実感する姿が見られた。

- 本時は子どもたちが初めて見るような様々な図形の中から三角形と四角形をえらぶ場面を設定したことで、子どもたちが楽しみながら意欲的に活動する姿が見られた。
- 一見三角形に似ているが、やくそくを元に考えると四角形である図形について考えるときに、1年生の抽象的に図形を見て捉える見方が中心として残っており、四角形であることが認められない児童がいた。やくそくを捉えさせる際に、ただ言葉として覚えるのではなく、意味理解をもっと深めておくことが必要であったと感じた。